

重機災害事例

災害発生状況

河川工事において、連結されたポリエチレンパイプ（1本あたり約230キログラム）をドラグ・ショベルにより吊り上げた状態で運転者は運転席を離れた。運転者が運転席に戻る際、上着の裾がレバーに引っ掛かったことでドラグ・ショベルが右旋回し、つり荷が揺れ、近くにいた被災者の頭部につり荷が激突した。

原因

- ・運転者が運転席から離れるときにバケット及びつり荷を地上に下ろしておらず、また、エンジンを停止していないこと。
- ・運転者が運転席を離れるときに同機械のロックレバーの引き上げがあまく、操作レバーによる機械動作にロックがかかっていなかったこと。
- ・ドラグ・ショベルのクレーン機能を有効に作動させず荷をつり上げたこと（ドラグ・ショベルを主たる用途以外に使用したこと）。
- ・運転者の防寒着の裾がドラグ・ショベルの操縦レバーに引っかかったこと。

対策

- ・運転者が運転席を離れる際は、バケット及びつり荷を地上に下ろし、エンジンを停止させることを徹底すること。また、ロックレバーの引き上げた状況を目視し、有効に機能していることを確認すること。
- ・クレーン機能付きドラグ・ショベルで荷をつる場合は、旋回速度を低減するためのクレーン機能を有効に作動させるよう徹底すること。
- ・建設機械等を運転するにあたり、安全運転に適した衣服を着用すること。

